

参画と協働の芽

地域分権推進課
☎ (740) 1600

このコーナーでは、市民の皆さんに支えられている参画と協働のまちづくりの活動を紹介します。

community

地域の「まつり」に健康という視点を

明峰小学校区コミュニティ推進協議会
明峰健康フェスティバル実行委員長
森川 繁宏さん

「まち全体が元気になるような取り組みを」



市では9月に健康マイレージをスタートするなど、健康を中心とした施策を推進しています。そんな中、健康を取り入れた取り組みを独自に行っている地域があります。高齢化が進む中、地域ぐるみで健康づくりに取り組もうと、10月5日「明峰健康フェスティバル」を開催したのは明峰小学校区コミュニティ推進協議会。健康をテーマにしたのは今年が2年目、実行委員長を務めた森川繁宏さんに話を聞きました。

「当日は台風の影響で、子どもみこしや模擬店など、屋外での催しが直前で中止となり残念に思われた人も多かったでしょうが、屋内で実施した健康体力測定は非常に盛況でした。本当は希望する人みんなに受けてもらいたかったんですが、機器や時間の都合で、人数に限りがあるため、年齢や種目を絞った事前申し込み制にしたんです。最新の器材を使って、普段、病院ではなかなかできない骨量や血管年齢などが測定できるとあって、すぐに定員いっぱいでの申し込みがありました。ほかの催しはなくなったので、

●健康体力測定の様子



ではと感じています」と話す森川さん。

時間を延長するなどして、できるだけたくさんの人に受けてもらったんですが、「受けてよかった」という声を聞くと、準備が大変だった分、うれしさもひとしおです。と同時に、健康に対する関心がやはり高いんだなと感じました。森川さんはそう話します。

課題はあるものの、工夫して地域から元気を発信できればと考えているそうです。「健康に関する取り組みは継続したいと思っています。新しいことへの挑戦です。で、課題は多いですが、できればもっと充実させたいと考えています。また、地域の行事は三世代交流の場ですから、こういう視点を取り入れることで、世代に関係なく自分の体のことや健康の大切さを意識してもらえればいいですね。このような取り組みが広がって川西全体が元気になればと思います」。



柿のショートケーキ かわにし秋のスイーツセレクト②

おとな子どもも
食と育つ
健康づくり室
☎ (758) 4721

レシピ提供：工藤孝さん（鼓が滝3）

- 材料（4人分）
- 柿 2個
- 粉砂糖 20～25g
- 生クリーム 50cc
- 食パン（サンドイッチ用） 3枚

熱量（1人分）：117kcal

- 作り方
- ① 柿は皮をむいて半分にし、2～3mm程度にスライスする。飾り用（少量）と分けておく。
- ② 生クリームをボールに入れて、7分ほど泡立てる。粉砂糖を加えてさらに泡立て、固めに仕上げる。
- ③ 食パンに6分の1量の②を塗り①を乗せて、さらに6分の1量の②を塗り、食パンを乗せる。同じ作業を繰り返さし、もう1段重ねる。
- ④ ③の表面に残りの②を塗り、少量の柿を飾る。冷蔵庫で約30分寝かせれば出来上がり。

人権啓発シリーズ
生きる
人権推進課
☎ (740) 1150

よく生き合おう！⑧

子どもたちの「4つの願い」 おとなの応答が問われている

私が児童・生徒たちに話をするようになって20年になります。最近では幼稚園（児）の年長さん（5歳児）たちも話を聞いてくれます。

小中高生からの感想文は全部保存していますが、読んでいるうちに、子どもたちが心の中で「4つの願い」を抱いていることに気がきました。

第1に「話を聞いてほしい」「携帯をしながら僕の話は聞かないで！」という意見が新聞に載っていたことがあります。聞いてもらえないと分かると、何を尋ねても「別に」と言い出し、反抗期とも重なって、その先には「うるせー！」が待っています。第2は「決めつけないでほしい」。算数や数学の成績などで頭の良さ悪さを決めつけやすいおとなへの異議申し立てでもあります。第3に「同じ人間として向き合ってください」「おとなも間違ったら、あやまってほしい」という意見が新聞に載っていました。第4は「早く早くとせかせいでほしい」。子どもには独自の時間の流れがあります。おとなの都合だけで決められたくないというのです。

しかし、この「4つの願い」は、高齢者や障がい者などの「願い」にも通じます。つまり人間としての根源的な「願い」であり、その実現は「人と人がよく生き合う」ための前提条件と言えます。つまり問われているのは、私たちおとなの応答ではないでしょうか。

（元岐阜大学教授 藤田敬一）

【毎月第3金曜日は川西市の「人権デー」人権標語入賞作品「いじめの芽 やさしいことばで つみとれる」中学校1年】

消費生活センターだより
消費生活センター
☎ (740) 1167

公的機関をかたる詐欺にご注意！

消費生活センターを名乗る電話 「個人情報削除してあげる」？

Q. 消費生活センターを名乗って電話があり「あなたの個人情報3社に漏れている。削除しますか」と言われたので、削除するようにお願いした。

数分後にまた電話があり「2社は民間企業なのですぐに削除できたが、1社はNPO法人なので簡単に削除できない。削除するには代理人を立てる必要がある。ボランティア団体のAさんが代理人になってくれることになったので、Aさんから電話が入る」と言われた。

すぐにAさんから電話があり「今から削除するが日数がかかる。NPO法人に電話をして『ボランティア団体のAさんに削除のお願いをしました』と伝えてください」と言われた。

ここで話の内容が不審だと思い始めた。本当に消費生活センターからの電話だったのか。（70歳代女性）

A. 消費生活センターや公的機関が「個人情報を削除してあげる」などと電話をすることは絶対にありません。最終的には「削除のために費用がいる」などと言ってお金をだまし取る手口です。

個人情報の削除を持ちかける電話は詐欺です。相手にせず、すぐに電話を切ってください。

一度お金を支払ってしまうと、取り戻すことは極めて困難です。絶対に支払ってはいけません。

最近では宅配便で現金を送付させる手口も急増しています。

困ったときは消費生活センターに相談してください。

